

# 文化財だより

三角測量鵠川基点をもとめて 5

## 鵠川基点のモニュメント完成



【写真】三角測量鵠川基点記念碑除幕式（平成三十年十一月十八日）

三角測量勇払基線鵠川基点は、明治六（一八七三）年に、日本で初めて広域の三角測量に基づく北海道地図を作成するために設置されました。先人の残した偉大な功績を再発見するために、むかわ町では、昭和四十年と平成元年に全町を挙げた探査が行われ、この度、平成の終わりの年に、国土地理院をはじめとする多方面からのご協力を得て、GNSS（リアルタイムのGPS）による最新の測量技術と、高精度の地中探査レーダーを導入した、大々的な鵠川基点の探査を実施しました。



【写真】地中探査レーダー調査



【写真】鵠川基点推定地の風景

今回は、国土地理院北海道地方測量部が計算に基づき推定した、田浦四線の国道付近を中心に、鵓川基点の探査を実施しました。残念ながら、鵓川基点の発見にはいたりませんが、事業の一環として、開拓使の測量事業や昭和四十年にスタートした町の探査の経緯を盛り込んだパンフレットを刊行し、鵓川基点推定地に近い田浦野球場駐車場に、鵓川基点の記念碑を設置しました。記念碑の石材は、昭和三十七年に発見された勇払基点の標石と同種の花崗岩を選び、デザインも、勇払基点の記念碑と同形になりました。標石を思わせる花崗岩石柱が、三角測量の三を連想させる三本立ち並ぶ工夫を凝らした外観です。碑文を刻んだ石板には、公益社団法人土木学会により選定された、平成二十八年度土木学会推薦土木遺産「開拓使三角測量基線－勇払基線（勇払基点、鵓川



【写真】昭和四十年調査風景



【写真】平成元年調査風景

基点)」の真鍮製プレートが設置されています。平成三〇年十一月十八日に実施した記念碑の除幕式においては、秋晴れの中、来賓及び関係各位の暖かい眼差しに見守られ、また、測量調査を実施した株式会社タナカコンサルタント代表取締役顧問の田中稔氏による、開拓使三角測量事業の解説を頂きました。記念碑は、田浦球場駐車場の入口わきに設置されていますので、球場へお立ち寄りの際は、ぜひ、記念碑をご覧頂き、郷土の歴史に触れてみてください。



【図】三角測量鵓川基点モニユメントの位置





## 三角測量勇払基線鷓川基点碑文

1873(明治6年)、開拓使は、開拓計画の遂行と将来の国土を造る人材育成のために、James Robert.Wasson(ワッソン)ら外国人教師を雇用して、我が国で初めて近代的な洋式測量を導入し、北海道地図の作成を開始した。

三角測量のBase Line(基線)は、勇払平野の海岸線の直線に定め、両端の鷓川と勇払の地に、花崗岩製石柱(基点標石)、高さ四十尺の目標台を建設し、ここに、勇払-鷓川基点間の勇払基線が設定された。1874(明治7年)、後任のMurray S.Day(ディー)は、日本人若手技士らとともに、米国製ヒルガード式基線尺を用いて3回測定し、1875(明治8年)に基線長14,860.26461959m(9.2333法定マイル)を定めた。1876(明治9年)、測量事業の中断により、開拓使の北海道地図は未完成となったが、国内では先駆けて三角測量を中心とする洋式測量技術の発展に寄与した、我が国の測量史上特筆すべき歴史的意義を有するものである。

鷓川基点は、1965(昭和40)年9月から現在に至るまで、全町を挙げて四回探索したが、いまだ発見されていない。本町の次世代を担う若人が本事業を引き継がれ、先人の遺した輝かしい実績を、将来再発見されることを期待する。

2018(平成30)年11月18日

おかわ町  
おかわ町教育委員会

## INSCRIPTION

A.D.1873 (Meiji 6 years), Kaitakushi started to make a map of Hokkaido, for the first time in our country to introduce a modern survey, hiring foreign teachers such as James Robert Wasson, to develop human resources to carry out a pioneering project and build a future homeland. The triangulation baseline was set on the coastline of the Yufutsu plains. Yufutsu and Mukawa at both ends of the baseline constructed a target tower of 40 syaku height (about 12 meters) and a granite pillar (base point).

A.D.1874 (Meiji 7 years), Murray.S.Day, Kaitakushi of The chief surveyor, with the Japanese young surveyors was measuring the baseline three times using Hillguard baseline ruler (United States-Made).

A.D.1875 (Meiji 7 years), Determined baseline length of 14,860.26461959m.

A.D.1876 (Meiji 9 years), since the survey project was interrupted, the Hokkaido map was unfinished, but it has a remarkable historical significance in Japan's surveying history, which contributed to the development of triangular surveying technology in Japan.

The exploration of Mukawa base point has been completed four times in the town since A.D.1965, but it has not yet been discovered. The next generation of young people in Mukawa town will inherit this project and hope that the achievements of their predecessors will be rediscovered in the future.